

1. 件名：川内原子力発電所及び玄海原子力発電所の地震等に係る新規制基準
適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年9月5日（月）16時00分～16時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、松末技術参与、馬場係員

九州電力株式会社：赤司副本部長 他4名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 震源を特定せず策定する地震動に係る対応について

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい。それでは時間になりましたので川内玄海の震源を特定せず策定する地震動に係る対応この面談を始めたいと思います。
0:00:13	前回7月の19日にしその前の審査会合でのコメントを踏まえたスケジュールということで
0:00:23	お示しをいただいておりますが少し間があきましたので調査の進捗ですねそれと、それを踏まえた現状を考えておられる、今後のスケジュールということで九州電力の方からご説明を伺うということになってございます。資料の方、ご説明お願いいたします。
0:00:40	はい。九州電力の本村です。本日はよろしくお願いいたします。本日のご説明資料の確認ですけども、川内玄海共通で、震源を特定せず策定する地震動に係る対応についてという資料になります。
0:00:54	早速ですが、2ページ目に、目次を示しております。
0:01:00	まず、地盤減衰に係る追加調査の概要、あと、追加調査の進捗状況、それを踏まえた今後の審査スケジュールをご説明させていただきます。
0:01:11	参考①として、7月19日に提出させていただきましたスケジュール、それと参考2として、追加調査結果の検討イメージについて、規制、記載させていただきます。
0:01:23	3ページお願いします。
0:01:26	追加調査の概要ということで、玄海の追加分、追加ボーリング位置と進捗、それと岩石コアを採取する、既存ボーリング孔の位置を示しております。
0:01:38	追加ボーリングにつきましては、200メートル程度のボーリングを3ヶ所、そのボーリング孔を使って、Q値を測定します。
0:01:48	出先の進捗については記載の通りですけども、求人の1、左の方になりますけども、こちらについては不振が完了しております8月30日からQ値の測定を開始しております。
0:02:00	岩石コアにつきましては、既存のボーリング孔から採取しましてQ値を測定いたします。
0:02:07	4ページをお願いいたします。
0:02:09	こちら仙台の方、示しておりますけども、玄海と同様、3ヶ所で200メートル程度の追加ボーリングを実施しまして90測定いたします。
0:02:19	岩石項につきましても前回同様、既存のボーリング孔から採取しまして掲示を測定することとしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:28	5 ページ目になりますけども、こちら、追加ボーリング孔内でのQ値測定の概要を示しております。
0:02:37	左の方にイメージ図を記載してありますが、地方におきまして震源車を用いて、人工的に励起した振動を、追加ボーリング孔内に設置した受振器で観測しまして、
0:02:49	右の図に示しておりますが、震源一井のは経審と構内受信機の派遣の進捗の関係から、速度層区分ごとに、
0:03:00	Q値を測定いたします。
0:03:03	6 ページからはですね、追加調査の進捗状況についてになります。
0:03:09	6 ページに、当初計画と進捗状況について記載しております。
0:03:15	7 ページ 8 ページが玄海川内のスケジュール表を記載しております。
0:03:21	で、すみません 6 ページに戻っていただきまして、ボーリング孔内と岩石コアのQ値測定に関する当初の計画についてなんですけども、
0:03:32	七、八ページに記載してあります通り、玄海川内ともにですね、
0:03:37	7 月上旬から 3 校同時にボーリングを開始しまして、9 月下旬までQ値を測定する計画としておりました。
0:03:46	また、岩石高につきましては、7 月上旬から 9 月上旬までの 3 ヶ月で実施する計画としておりました。
0:03:55	取りまとめにつきましては、Q値分析結果が出ると、10 月上旬から、1 ヶ月で実施する計画としておりました。
0:04:04	で、実際の進捗状況につきましてですけども、原価については、7 ページに示しております通り、7 月中旬から 8 月中旬にかけて、
0:04:15	段階的にボーリング着手しております。
0:04:19	ボーリング版がですね、前の現場での追加作業が発生したことから、9 月 7 月上旬着手から、遅れている状況になります。
0:04:29	現状ですね、限界の方、一つの穴につきましてはQ値測定中で、残りの二つの項につきましては、苦心中でございます。
0:04:39	Q値の分析につきましては、
0:04:42	11 月上旬に完了予定です。
0:04:45	取りまとめにつきましては、ボーリングと岩石コア試験の進捗を踏まえまして、10 月上旬より随時実施しますが、ボーリング着手の遅れ、熱中症対策や、悪天候による、
0:05:00	安全への配慮によるボーリング進捗の遅れにより、11 月下旬完了予定となっております。
0:05:07	川内につきましては、8 ページに示しております通り、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:13	玄海同様にですね、段階的にボーリングの着手をしてございますが、現在、3校とも不振中でありまして、九州の分析は、
0:05:24	11月上旬に完了予定です。
0:05:27	岩石コアも、玄海と同様ですけども、9月下旬に完了予定となっております。
0:05:33	取りまとめにつきましては、ボーリングと岩石コアの新試験の進捗を踏まえまして、10月上旬より随時実施しますが、
0:05:42	高角度の亀裂が多く、曲がり防止のために慎重に苦心しているため、屈伸の遅れ、それと、ボーリング着手の遅れ、熱中症対策や、
0:05:52	悪天候による安全への配慮による、G o i n g 進捗の遅れによりですね、
0:05:58	11月下旬に完了予定となっております。
0:06:04	続いてですね、9ページからが、今後の審査のスケジュールのご説明になります。
0:06:10	先ほどご説明しました通り、現時点の調査進捗状況ではですね、全体説明に関する資料提出時期が当初予定より、1ヶ月遅延の11月下旬となる見込みです。
0:06:25	地盤減衰の設定方針については、101013ページからの参考資料②に示しておりますけども、
0:06:33	追加調査結果をもとに、最深部地震計線と、以深のですね、
0:06:39	地盤減衰の傾向分析、それと、追加調査結果を基にした伝達特性、例えば伝達関数でありましたり、応答スペクトル、
0:06:48	になりますけどもその比較により、
0:06:51	地下構造モデルの妥当性を確認することを考えております。
0:06:56	設定方針につきましては、最初のボーリング、
0:07:00	最初のボーリング孔内のQ値測定結果、玄海では9月中旬、川内では、10月中旬になりますけどもその結果を基にですね、傾向を慎重に確認したいと考えております。
0:07:12	その場合ですね、10月下旬に
0:07:17	設定方針に関する資料を提出することになるんですけども、11月下旬に予定している全体説明の資料提出までの期間がかなり短くなると。
0:07:28	ということから、設定方針と全体説明をまとめてご説明させていただきたいと。
0:07:33	いうふうに考えてございます。
0:07:36	これらを踏まえまして、11ページになりますけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:41	こちらにつきましては、先ほどご説明させていただいたものを、審査スケジュールに落とし込んだものになります。
0:07:49	11月下旬に、地下構造モデルの位置付け、設定方針、それと、全体説明に関する資料を提出させていただきたいと考えてございます。
0:07:59	なお、現在、調査工程の短縮策をですね、検討実施中でありまして、
0:08:06	10月上旬にですね、改めて進捗をご説明させていただきたいというふうに考えてございます。
0:08:15	で、12ページになりますけど参考でつけてございます。7月19日の提出スケジュールになります。
0:08:24	で、13ページ以降、参考②と、記載してますけども、調査結果のですね検討イメージを簡単に記載してございます。
0:08:34	13ページにつきましては、地盤減衰のフロー図を右の方につけておりますけども、今回の岩石コアボーリング孔内の減衰測定結果は、最深部地震計自身の
0:08:47	地盤減衰の適用範囲の妥当性確認のところ、用いることとしております。
0:08:53	フロー図で言いますと右下の方になります。
0:08:57	具体的にはですね、14ページに示してございますけども、ボーリング孔内の減衰測定では、地震計がある範囲、右の方にちょっと図を示してますけども、地震計がある範囲、上の方ですね。
0:09:11	それと、最深部地震計からL-200メートルまでの、
0:09:16	範囲のQ値の傾向を分析する予定でございます。
0:09:20	岩石コアにつきましても、最新地震計がある範囲と、最深部地震計から、E L-200メートルまでの範囲の、90の傾向を分析する予定ですけども、
0:09:33	岩石コアのQ値につきましては、岩盤の不均質性による減衰が含まれないことに留意した、検討を実施する予定です。
0:09:41	15ページ、最後になりますけども、
0:09:45	地下構造モデルの妥当性確認ということで、追加調査により獲られた、層厚V s V p、Q値をもとに、P S検層モデルというものを設定いたしました、
0:09:57	標準応答スペクトルの地下構造モデルと、P S検層モデルによる伝達特性、伝達関数、応答スペクトルの比較により、
0:10:07	標準応答スペクトル用の
0:10:09	モデルの妥当性を確認していくと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:12	というようなことを、現状考えているところでございます。
0:10:15	すいません。当社からのご説明とご相談は以上になります
0:10:37	はい。ご説明ありがとうございます。ちょっとそこのスケジュールの話をする前に佐藤冒頭の最初の、
0:10:44	三、四ページはこのあたりでちょっと確認して、一応これ、
0:10:48	8月末時点実績ということでどこまで堀田書いてますけどこれまさしく8月、
0:10:53	まず30日31日時点ということでよろしいですよ。
0:10:58	はい。
0:11:01	5ページはごくごく一般的な、
0:11:07	方の話をしているので、
0:11:12	すいません。
0:11:13	ちょっと当初の
0:11:15	予定からのずれのところですが、例えば7ページとかでも結構なんですけど、すみませんちょっと前現場での追加作業。
0:11:23	発生。
0:11:25	おっしゃってるのは、
0:11:27	ちょっとここもう少し教えていただいでですね、これ、社内で別のところで何か、
0:11:33	ボーリングの作業工事をする担当の、
0:11:37	担当は別のところで別の作業をしていたのでっていう
0:11:41	その工程の話をされた。
0:11:48	すいません社内というわけではありませんで、
0:11:52	はい。業者は別の全くうちの敷地外といいますか、そういうところで、ボーリング工事してまして、その現場でですね、追加の作業とか発生しております、
0:12:02	それで、その分ちょっと遅れまして、乗り込みが遅れたと。
0:12:07	ということでございます。
0:12:09	はいわかりました。じゃあので社内可言えば、その社外他律的なところでっていうすごい趣旨ですね。
0:12:16	はい。
0:12:17	あと安全への配慮熱中症とか悪天候ってのはこれ致し方ない部分はあるんですけど、
0:12:24	何ていうか夏場の方で、ごく当たり前のことというか、天気も毎日わけじゃないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:31	若干見込みが甘かったのかたまたまちょっとボーリングホールドも悪天候はタイミング重なると、
0:12:37	あれですかねちょっと一旦作業を中断して何かやぶらかなんかを国会崩して、もう一度天候が回復するっていうと、そこら辺がうまくはまらなかったのかもしれませんが、
0:12:49	値、これ作業のその前作業の追加発生ってのはやっぱスタート時期のこのずれのことをおっしゃってるんですかねこれ9G1とか9G-3とかって、
0:13:01	もともと7月の最初に3本あれば、限界であればですね。
0:13:06	スタートしていて、それがー
0:13:09	半月奥で9G-1が半月遅れて9Gの2と3が1ヶ月半くらいなってるのでもうこの時点ですっていうところなんですかね、そもそも。
0:13:19	はい。おっしゃる通りでございましてもともと当初計画では7月頭からですね、3校同時にやる予定にしてみましたけども、現場で追加作業がありまして、
0:13:31	乗り込み自体が、先ほどおっしゃられました通り、9事案につきましては7月、半月ですね。
0:13:36	遅れる。あと、929人さんにつきましては1.5ヶ月ぐらい遅れて、
0:13:42	ということでございます
0:13:47	はい。ちょっとそのスタートが遅れたというところは、仙台の方が、それに加えて、ホール速度が少し慎重にならざるをえないと。
0:13:59	ということで、
0:14:01	ちょっと当初計画の方の、そのQ値測定これは当然、後の、
0:14:09	今後の見通しのところのQ値測定とかかる期間として一緒なんですけど、後の分析のところが、
0:14:18	特に三本目のコアですかね。
0:14:22	これが10日間ぐらいで分析となっているんですけど、
0:14:28	これは、
0:14:32	ちょっと例えば1000、限界かな見解の求人市場分析ものすごく長くとってますけど、多分実際このうちのどこかの機関でやるんだと思うんですけど、
0:14:42	一番最後の三本目の行の分析が10日ぐらいになっているんですけど、これは現実的な、その差は最終的には実はもっとかかりますとか何か、
0:14:52	これで、もともと10日ぐらいでできますと言って、
0:14:55	いうふうに見ていいのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:57	ここはある程度現実的な期間なんですか。
0:15:02	確かに最後の9G3とか、いうところがちょっと短くなってますけども、机上の解析でございますので、そこら辺、
0:15:12	縮めてですね、どれだけちょっと短めに、やれるというふうに考えているところでございます
0:15:21	はい。それらのすべての分析が終わってから概ね20日ぐらいで、3週間ぐらいで、
0:15:28	全体のまとめ作業が終わるとできるところは
0:15:33	早めにやってくって、
0:15:35	はい。
0:15:36	あと岩石コアの方はほぼ温スケジュールですよこれ多分どこか外部に 来方出して分析してもらってるんだと思うんですけどこれはスケジュール 通り、
0:15:46	はい。今のところを8月コアの選定と整形が終わっていて、まさしく 今、Q値の測定を始めているところっていうところで、
0:15:59	これはこのスケジュール通りってことでは、ちょっとこれだけ出てきて もなかなか議論ができないので、ちょっとボーリング待ちというところ ではあるんですけども、
0:16:10	はい。
0:16:11	ええ。
0:16:13	と。
0:16:14	今のところ調査の遅れ等、ちょっと今後のスケジュールの話は次する として、今のところすいませんこの8ページぐらいまでの、
0:16:24	調査のずれのところでは何か確認しておきたいことある方おられますか。 こちら規制庁が、
0:16:39	本当にです。
0:16:40	これボーリング掘削のあとQ値測定ってなっても分析になるんですけど、これ
0:16:47	ボーリング新しく掘るっていうことで、
0:16:49	何、何て言うんすかね地質の評価みたいなのは、
0:16:53	されない工程になってるってことなんですそれとも。
0:16:56	コア観察だとかはちゃんとやって、
0:17:01	ここの工程なんですか。
0:17:07	九州電力のイマバヤシです。今回のボーリングは今おっしゃられました がコア観察はやりますで、それでもう通常のボーリングをやってその

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:19	ボーリング調査をやった結果の一般的なといいますか、分析っていうのはやった上での工程。
0:17:28	というふうに考えております。
0:17:34	そうなんですね。例えば地質の評価がね思ったような評価じゃなくて、地質図変えるとかなってきても、それは対応する。
0:17:45	のがここに収まるっていう意味でいいんですか。
0:17:49	えっとですねちょっと地質の反映というところはまだちょっと掘ってみた結果次第かなと思っておりますけども、基本的には今回ボーリングやってるところに関しましてはもう既往のボーリング、
0:18:01	等々いろいろな情報ございますので、大きく地質が変わることはないだろうというような想定はしております。
0:18:09	再確認できました。あれですかね、何か違いが。
0:18:13	もう、あれ、何、近くにもボーリングあるようなところを選んで、今回やってて、
0:18:20	基本は地質は、
0:18:23	想定通りか確認していきながら、見ていくっていうような評価の仕方をするっていうことで理解しました。
0:18:35	はい。他は。
0:18:38	よろしいですか。
0:18:42	はい。
0:18:43	そうすると、次に9ページ目の今後の審査スケジュール。
0:18:52	そういうことで2分の
0:18:55	2分の1、
0:18:58	そうですね、はい。
0:18:59	ええ。
0:19:01	すいませんこれです。
0:19:04	最終的なところは設定、地下球児の設定方針とその説明等をまとめて11月の
0:19:13	末に持ってくるということで、
0:19:17	それが後のですね、11ページ目のところで言うと、
0:19:23	上から2段目の地盤減衰、これがだからまさしく11月の下旬に資料で、
0:19:33	設定方針と、その検討結果ですね、それをまとめて持ってくるということなんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:39	その上のすいません地下構造モデルの位置付けですねこレイモーひっくるめて11月の末になってるんですけど、
0:19:48	これはもっと早く説明はできないんでしょうかということなんですが、7月の1日から面談では確認してるんですけど、大分間も空いてしまうので、
0:19:59	当然面談で資料を元に公開はしてますけども、なかなか運転に7月の1日の会合でご説明いただいているスケジュールと、その今のスケジュール、
0:20:12	というところが、大分水面下に潜ってしまってるようになるので、
0:20:19	どこかで地下構造モデルの位置付けと、
0:20:22	ちょっと今少し工期短縮できないかっていうのは、来月の頭ぐらいまでご検討されると言ってたんですけど、それを面談でご説明をという、10月下旬かな。
0:20:37	10月の頭。
0:20:38	でご説明をということなんですけど、少しスケジュール等、いわゆる地下構造モデルの位置付けですね。
0:20:46	この辺を少し早めに、会合とかですねそういうところで議論できる状態にならんかなと思ってるんですけど、
0:20:53	この辺は切り分け可能ですか。
0:20:57	九州電力の本村です。地下構造モデルの位置付けにつきましては、徐々に資料等準備はしてますので、一応今、今回ですね11月末という、
0:21:07	ことになってますけども、早めに、
0:21:11	準備することは可能と考えております。
0:21:14	スケジュールのケインについて、かなり会合が開いてますので、10月上旬とかいう話でございますけどもそれにつきましては、
0:21:25	今回、スケジュールをご説明させてもらいまして、コメントを踏まえて、対応することは可能かというふうに考えているところでござい
0:21:38	はい。前は7月1日なので、例えばその10月のどこかとか多分そういうぐらいでかなと思いますけど、ちょっと先ほど工期短縮くうですかね11ページでおっしゃってる調査工程の短縮、
0:21:52	これの検討中というところそれがちょっと今、8月末の状態と、9月末ですかね9月末の状況を見て、
0:22:03	そうですね、ボーリングはまだ9月中だと思っているコアもあるんですけどある程度その進み具合からして、何日ぐらいにボーリングが終わるっていう見通しが立つんでしょから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:14	そのタイミングで、お話を聞くと釜田勝。
0:22:18	地下構造モデルについてももう早々合いボリュームのあるものではないとは思うので、そんなボリュームのある資料で、
0:22:27	間を空けて2回ヒアリングやってっていうほどでもないのかもしれないので、ちょっとそこら辺は、9月の終わりぐらいですかね今月割りぐらいになったら、
0:22:35	ぜひ
0:22:36	もしくは10月上旬とかどこかのタイミングでヒアリングに、
0:22:42	を入れてもらえればなと思います。
0:22:45	そうしたときにそのスケジュールなんですけど、前回の会合だと、いわゆるもう、
0:22:54	施設側設計側の方々とも話をされていつ、設計の話が出てきてとかですね少し全体のスケジュールを見せてくださいという話もしてたかと思うんですけど、一応今のところ出てるスケジュールは
0:23:08	いわゆる我々の方の審査会合ですね、基礎地盤と周辺斜面までのところのスケジュールが出て、
0:23:16	そこら辺その設計にどのタイミングで渡してっていうのは、そこはまだ社内では検討中ですか。
0:23:29	すいません九州電力の本村です。具体的にはちょっといろいろコミュニケーションをとってございますけども、今これといった、ちょっとすいません。今口頭で申し上げることはちょっと難しいかなという感じです。
0:23:45	はい、わかりました。じゃあちょっと今出ているスケジュールの中でなんですけども、これ7月の1日の審査会合の時点でもですね、
0:23:56	いわゆる模擬地震はが、確か当時の会合だと1月の終わりぐらいででき、資料が出てきて、2月の終わりぐらいに審査、
0:24:07	かな、審査会合かな、そういう、確か1感覚で今回のスケジュールもそこは、
0:24:14	後のところはですね、変わっておらずですね、多分基礎地盤と、周辺斜面も来年の9月頭、9月終わりに審査会合、
0:24:26	深田タニ資料で9月は稟申され、
0:24:29	ここは変わっておらなくてですね、安定解析のかかる期間のところは変わりこの間で変わりはないんですけど、ずっと模擬地震はの検討ですかね、ここの期間が、
0:24:41	大分圧縮されてるようなんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:44	ちょっとここはこの通り、
0:24:46	いくのかなあというところがちょっと今あるんですけど、いやもともとがかなり余裕を持っていたのか。
0:24:54	今この短縮してこの短期間でですね、すぐ出てくるのかっていう。
0:24:59	ちょっとここがですねあるんですけど。
0:25:02	九州電力の本村です。模擬地震反応については、確におっしゃる通りちょっと短縮してるような感じになりますけども、作業としましてはですね、並行してやれるというふうに考えておまして、特に無理して
0:25:17	縮めたという感じではございませんで、同時並行作業的にやって、ということで、あまり無理してるという感じではございません。
0:25:37	これだと、もともと月か11月の終わりに地盤減衰そうしよう。
0:25:46	2番減衰の会合を11月の、
0:25:52	終わりにかける予定のものが今最新だと12月の終わりになっていて、
0:25:58	そこから出さね山登り1ヶ月ぐらい短縮している。
0:26:02	だけど、
0:26:03	もちろん地下構造モデルを当然かけ、地下構造モデル地盤減衰分、当時、地下構造モデルを我々に出すですね審査会合にかける資料ができた段階で、
0:26:16	社内的には、その地震、僕自身解析ができる状態では、ある、その通り行くかどうかは別としてそれは介護でかけないような次第ですけど、
0:26:26	そういう作業もしながら先取りをしてっていう、
0:26:30	やり方なのかもしれませんが、
0:26:32	ちょっとここが本当にこの通り行くのか。勝野。
0:26:36	どうしても年末年始とかですねこの辺を挟むので、
0:26:40	スケジュール通りいくのかなという。
0:26:43	それは次ですかね、介護でのうち、スケジュール出していただく。
0:26:47	その時にお話いただく。
0:26:49	いうことかもしれません。
0:26:51	ちょっとそこら辺が
0:26:53	今日いただいた持ってきていただいた資料ですねこれを見ながら少し疑問があるので、はい。
0:26:59	村中時にお伝えして、
0:27:02	今、このスケジュールの話で、何かほかにある方。
0:27:13	規制庁のナグラです。
0:27:16	当初の予定でいくと、9月、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:20	下旬ぐらいに、
0:27:22	会合で、方針を説明していただくと。
0:27:26	それは7月で会合を開いてから3ヶ月目ぐらいということなので、3ヶ月以上空けないで、方針は方針として説明していただくということで、
0:27:37	9月下旬の会合を設定していたと。そういったところの目的というか、を意識した場合はやっぱり、
0:27:46	地下構造モデルの位置付けとスカーフともスケジュール変わってるところ。
0:27:51	に関して、現状として、
0:27:54	9月下旬か10月ぐらいには説明をいただいた方がよろしいだろうということで、先ほどのスズキからの提案ということになっています。
0:28:04	ですのでこちらについてはおそらく、やっていただく必要があるんじゃないかということで考えています。
0:28:13	これ先ほどお話した通り、それでちょっと私自身ちょっとスケジュール関係で、
0:28:19	ちょっと大丈夫かなって思ったのは、
0:28:23	今回、呉の理由というところで、他律的な理由もあったり自然環境的な理由があったりするので、自然環境的な理由からすると、
0:28:34	今般8月下旬から9月頭ってのは悪天候。
0:28:38	というところの要は遅れの原因が顕在化しつつあるというところの状況として、ただ今回のそのボーリング掘削に関しては、
0:28:49	この期間をある程度延ばしていると、ということなので、今後の悪天候も含めて、少し何とかいける余裕があるような、
0:29:01	工程をボーリング策については考えているのかなと思ったんですがちょっと心配だったのは、先ほど鈴木の方から、鈴木藤から話があった通り、
0:29:12	ボーリング孔内のQ値測定をした後の分析等、
0:29:16	それからあとそれらを束ねて、
0:29:19	取りまとめ検討する期間ですね。
0:29:22	ここのところを短縮しているんですが、
0:29:25	こころ辺がですね、実際、
0:29:28	ある程度やっていくと、いろいろ課題とか出てきたりチューニングしたりする箇所があるので、そこら辺の及び資料を作っておいたところを削っているの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:41	そういう意味で、スケジュールが実現するか否かというのはちょっと疑わしい面もあるかなど。
0:29:49	それに加えて、
0:29:51	1月12月下旬、
0:29:55	それから1月のところ会合を、
0:29:58	減衰の設定について行った後に、模擬地震を、の資料を提出するまでが1ヶ月ぐらいと、いうことなんですけどこれも、おそらく当初は、コメントがいろいろ出たりして説明性を上げなくちゃいけない概ね、
0:30:13	多分認めて、認められるように、ちゃんと検討していこうと。
0:30:19	いうことは大事に考えた上で、コメントも何か出るかもしれないから、それに対しての説明をちゃんとする、検討するための期間として2ヶ月ぐらいとってんのかなっていう、
0:30:30	そういったところも削ってしまっているんで、
0:30:33	そういう意味でちょっと、
0:30:35	今のスケジュール、
0:30:36	さあ、クリティカルパスってのが後ろの安定性解析なんでこれを死守すると。
0:30:43	いうことであればもうそのようにちゃんと言っていて、それはもう確実にやっていかないと、このスケジュールは実現しないでそこがクリティカルパスなんでそれに向けて、それ以外の余裕を全部削ってますと、
0:30:56	いうことであればそういう説明をしてこれが実現可能かどうかについてには最大限の努力をしていくという、
0:31:03	ことはちょっと説明していただきたいなと思いました。
0:31:07	ちょっとやっぱり、
0:31:11	なかなか厳しいなと、早くなることはない、遅れることは十分あり得るというふうな状況なので、そこら辺の説明を、
0:31:20	ちゃんとしていただかないと、そういう
0:31:24	狼少年というか、また、これは遅れる可能性がありますねということで、変更変更を繰り返すとそういうふうな状況になってしまうので、
0:31:36	そのところはちょっとよく注意していただけたらなと思います。
0:31:40	以上です。
0:31:44	九州電力の明石でございます。今名倉さんからお話ありましたところまさに、もう我々最終的に目標というか、もうここはと置いてるのがおっしゃる通り安定解析の期間、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:59	これは死守してとにかく頁岩もずるずる延びることがないように、それに向けて最大限の努力をしていこうというふうに考えておりましてボーリングウーの調査については、
0:32:10	おっしゃる通り、まだ今後の天候をいかん等によりましては遅れる要素もなきにしもあらずですけども今現在引っ張ってる工程は、これまで天候なんかも踏まえてちょっと若干、
0:32:21	伸びてきた実績を踏まえて引っ張っておりますので、さらにそこにまず残業等を加えてちょっと早く進むような手だてを講じつつありますので、
0:32:33	ボーリングの調査については概ねスケジュールでいけるまでももちろんリスクはゼロとは申し上げませんが、行くんではないかと思っております。ただし、おっしゃる通りそのあとの分析、
0:32:44	でありましたら、ありましたりそのあとの、
0:32:48	審査の工程をかなり余裕を削って詰めているのは、実質上でございます。でも、まさにそのリスクがないかというと当然リスクはあるんですけども、
0:32:59	そこにな我々としてはとにかく、迅速に前に進むような工夫注力をしながら、先ほど申しあげました最後、安定解析が予定通りのスケジュールでいくように、いろんな手段を講じて、
0:33:15	血のつじつまを合わせるといってちょっと言い方表現非常に悪い言い方ですけどもさ結果的に終わりまで含めてずるずる延びることないようにそこを死守するように、進めていく所存でございます。以上でございます。
0:33:35	規制庁の名倉です。
0:33:37	こちらから申しあげることとしては、
0:33:40	何か問題があったり課題が生じたりして、スケジュールが変更になる、今遅れたりするとか、
0:33:49	そういうことがあるのであれば、またそれについては速やかにですね、こちらの方にお知らせいただいて、
0:33:58	そのあとの対応をどうするか、スケジュール関係も含めとかあとそのあとの工程も含めてですね、
0:34:05	そういったところの、何ていうかな、説明をちゃんとしていただきたいなということです。もうそれに尽きると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:13	是が非でもこれを収集しろとかそういうことはこちらからは申しませんので、遅れたら、課題があったらそれは速やかに伝えて明らかにするところだけは取り組みとして、
0:34:26	誠実に対応していただきたいと思います。以上です。
0:34:32	はい。九州電力の明石でございます。先ほど私も出資すると申し上げました。申し上げましたし、当然当社としてはその所存でやっていくんですけど起きてることであったり、
0:34:43	何か
0:34:46	不得意なことが起きたときと、はもう随時ご報告ご相談をさせていただきながら、
0:34:52	またコミュニケーションという言い方おかしいですけどもちょっと情報連絡を密にしてやっていきたいと思います。以上でございます。
0:35:00	はい。よろしくお願いします。そうしましたら、
0:35:05	あと、すいません追加調査検討のイメージ多分3分の1は、これは前の会合で書かれているものと同じだと思いますので、
0:35:17	今3分の2 三分の
0:35:19	3分の2の話の前回の会合でもお祖母行っていたような内容かと思えますけども、
0:35:28	半分の3は、これは右側のP S 検層モデルって言うのが、13 ページでいうと、
0:35:37	P S 検層結果を踏まえた速度、
0:35:40	総断面による検討とこれはもうすでにあるもの。
0:35:43	これとの比較をしましてそういうことですかね。
0:35:46	九州電力の本村です。ちょっとすいません資料の構成が悪かったんですけどもすいません 13 ページのフロー図につきましては、あくまでその地盤減衰の設定に関する、
0:35:57	フロー図になってまして、そこには、例えば
0:36:01	15 ページのものというのは、減衰に加えて今回の地質調査今回のボーリング調査でV s とか踏まえての速度構造とか、トータルの
0:36:10	地下構造モデルという観点になってまして、ちょっとすみません 13 ページのフロー図には書いてないんですけど、
0:36:16	そういう位置付けのものに、
0:36:23	はい。ちょっと待ってくださいね。そうすると、
0:36:27	15 ページのすいません左の標準応答スペクトル用モデルって書かれてるところの、はい。Q 値とかこの数字は、はい。今後ボーリング、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:37	それでデータをとると。
0:36:41	変わり得るといふか場合によつてもうちょっと細分化されるかもしれないものですよね。右側はもうすでに、
0:36:47	V S V P Q 値つてのはある。逆でしたっけ。私の説明が悪かつたのかもしれないですけど標準応答スペクトル用モデルといふのは、今まさに標準と、
0:36:59	ベクトル用に作つてるモデルになつてまして、今回、ボーリング調査を踏まえて、設定するのが、こちらの P S 検層モデル。
0:37:08	になりましてこっちがまだボーリング調査中でございますので、まだ値が出てこない。
0:37:14	結果が、調査が終わりましたらこの A V S とか V p 総額とかの値が出てきますので、それと
0:37:23	今、設定している標準応答スペクトル用の地下構造モデルを比較しながら、
0:37:28	検討していくつていうちょっとことになります。すいません左側が前回の会合で、
0:37:35	いわゆる地震基盤相当面を変えてこうしましたとつてご説明があつた薄田李がそのモデルつてことですね。すいませんわかり理解しました。
0:37:43	はい。それはこの 3 ページで何か今のうちに聞いておくつていふことある方。
0:37:54	はい。大丈夫そうですか。はい。
0:37:58	そうしましたら、
0:38:03	なので先ほど伊佐小の芦屋川からありまして、ちょっと途中でスケジュールをですね、そこで 1 回会合でご説明いたしたいと地下構造モデルの位置付けとともにですね、
0:38:15	名の少し 9 月末或いは 10 月の本当に頭ぐらいにはですね、きちんと最新のスケジュールと、
0:38:24	いふところでご説明いたしたいです会合なので 7 月 1 日の
0:38:29	時点の当初のスケジュールはこうでした。各云々今調査を進めてみてこつていふスケジュールですといふことで、
0:38:35	このスケジュールの方を示すといふことで、あの会合に向けての、
0:38:39	資料準備を進めてもらえればなど。
0:38:41	ます。
0:38:42	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:43	とこちら側からは、以上になりますが、その九州電力側の方から何かあります。
0:38:51	特になければ、
0:38:53	すいません、こちら、はい規制庁佐口ですけど、ちょっと全体通してもう1回、
0:38:59	確認をさせていただきたいんですけど、ちょっと今ほど鈴木の方からありました進捗状況なりっていうのは、
0:39:08	10月ぐらいに何とかですね、一度会合でという、
0:39:13	ご説明をという、お願いさせていただきましたけど、
0:39:17	ちょっとよくわからなかったのが、もちろん7月、
0:39:21	19日でしたっけ、のメンバーのときにご説明いただいたっていうのがあると思うんですけど。
0:39:27	その時のちょっとスケジュール、
0:39:31	今回のスケジュールが、
0:39:34	何かちょっとよくわからない部分が1ヶ所あってそれは何かっていうとですね。
0:39:39	11ページで、
0:39:43	違うな、12ページの方がいいかな、12ページで、7月19日の面談の時、
0:39:51	っていうのは、少なくとも地下構造モデルの位置付けとか地盤減衰っていうのは、
0:39:57	提出っていうのが9月のこれ上旬になるんですかね、会合の希望時期としては9月末ぐらいと。
0:40:06	いう。
0:40:08	ところで、この9月の上旬っていうのが何かっていうと、
0:40:15	多分、9ページにあって、この9ページの、
0:40:19	2ポツ目っていうのもちょっと私もあんまりこれよくわからなかったんですけど、
0:40:25	あくまで、
0:40:27	この設定方針についても、
0:40:30	最初の、
0:40:32	ボーリングのQ値測定なんかをですね、見ながらですね、慎重に確認したいというところもあって、
0:40:43	少なくとももう、
0:40:44	当初の予定で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:46	この9ページにある、
0:40:49	例えばさ、あ、ごめんなさい、違うか、7ページか。
0:40:54	7ページとか見ると、
0:40:56	G1とかですねこの最初の方で言うて予定としては、Q値の測定が大体9月上旬ぐらいに終わって、
0:41:05	それなんかも含めて、
0:41:09	ほぼ9月の同じですよ。上旬には、て資料を提出したいと、ほぼ報告タイムラグないんですけど、
0:41:17	当然ながら川内も一緒と。
0:41:20	で、今回今実際実際の
0:41:24	ところを踏まえると、
0:41:26	例えば大路市なんていうのは、
0:41:28	前は9月の中旬ぐらい。
0:41:33	仙台がやっぱりちょっと遅れていて、それでも10月の中旬ぐらい。
0:41:39	で考えれば、私よくわかんないのは、何も玄海仙台一緒に合わせなくても、
0:41:45	例えば玄海だけ先に。
0:41:48	やって、
0:41:49	何も玄海ではこうやって川内ではこうできないので他の方法を取りまして言われてもそれは確かにこの困る部分もあるかもしれないんですけど、
0:41:58	玄海だけ先に。
0:42:01	方針ですからあくまでも、
0:42:04	そうすると9月のこれ中旬ぐらいに、少なくとも7月の時にの面談で出された計画というのかその、
0:42:12	スケジュールでいくと、
0:42:13	Q値の測定が終わったらすぐにもう資料を提出して説明ができるという話だったと思うんですけど。
0:42:20	今、ここもかなりマージンをとって、例えば玄海が9月中旬に終わるにもかかわらず仙台も待った上で、しかも10月下旬でしたっけ。
0:42:32	ぐらいにしか説明は、シティー資料が提出できないと。
0:42:37	ということなんですけど。
0:42:39	ちょっとこれ、
0:42:40	やっぱりよくわかんなくて、
0:42:42	まずだから、玄海川内ってセットじゃないところの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:46	設定方針について説明ができない。
0:42:50	設定方針なんで多分、今日ご説明あった。
0:42:54	13 ページから 15 ページを使ってこういうふうの設定をしますという方針だけ多分説明していただければいいと思っていて、当然ながら、地下構造モデルの位置付けについても、
0:43:06	こういう方針で、位置付けについては、そうしますという、
0:43:11	ことを言っていただければよくて、何も Q 値の測定、
0:43:16	いかんによってそれが、
0:43:19	変わるっていうことがちょっとよくわからなくて、
0:43:24	あそこが、
0:43:25	ちょっとそのスケジュールとどうリンクしているのかというのが、やっぱりわからないですね。
0:43:32	で、
0:43:35	ボーリング自体が遅れているっていうことは、当然わかってますし、それはわかるんですけど、
0:43:41	その遅れと、この Q 値の測定、これはもう当然遅れてるんですけどそれと、
0:43:49	地下構造モデルの位置付けだったり、地盤減衰の設定方針だったり、
0:43:54	どう関係してくるのかっていう、
0:43:57	もう 1 回ちょっとですね。
0:43:59	そこ。
0:44:00	ご説明いただいて、
0:44:02	いいですかね。このどの 9 ページの 2 ポツ目。
0:44:06	ここ、この関係について、ちょっとここがよくわからなかったんですけどもう 1 回説明していただいてよろしいですか。
0:44:14	九州電力の本村でございます。おっしゃるところ、わかったんですけども、マーク、Q 値の測定結果が出てすぐ
0:44:25	設定方針の話ができるんじゃないかっていうのがまず一つあるのかなと思いますけども、なかなか今現状で設定方針ということでこれぐらいの検討イメージというものを、参考の 2 で示させていただいてるんですけど、
0:44:40	かなりざくっとした検討。
0:44:43	イメージになっておりまして、ここに実際値が入ってきてどう、どうなっていくかっていうのがなかなか想像がつかないところもありまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	Q値測定自体もですねちょっと我々初めてやることになってましてやることですので、
0:44:59	なかなか想定が難しいというところがあって、Q値を測った。
0:45:06	時点ですね、何か特異なちょっと値とかも出たときも、なかなかこう、すぐ判断できるかどうかちょっと不安なところもありまして、ちょっと資料にも記載してますけどもそういうデータをちょっと慎重に確認してですね。
0:45:20	最終的な、もうちょっと、今回示させていただいた設定方針に加えてもうちょっと具体的ところが要るんじゃないかなというところも考えておまして、
0:45:30	ちょっと
0:45:33	川内玄海一本目のQ値測定が出た結果、
0:45:36	出た時点よりちょっと時間をかけてですね、ちょっと後ろに倒したっていうところは、実際正直ベースのところではございます。
0:45:45	玄海川内牧口測定の
0:45:48	一本目のQ値測定の結果がですね、出るタイミングが、限界が早かったりと。
0:45:53	いうところも、おっしゃる通りでございますけども、ちょっと川内玄海同時にちょっと進めたいという、ちょっとすいませんこちらは
0:46:01	ただそう思ってるだけでございますけども、そういうふうになんかちょっと考えてまして、玄海川内の一本目が出たところで、
0:46:09	そっから慎重に分析してですね、今の10月末というところを聞かせていただいとるところで、
0:46:17	ちょっと正直ベースのところではございます。
0:46:20	はい規制庁佐口です。わかりました利用者さんの後、ご要望っていうのはわかりました。そうすると、正直、我々も正直な話をすると、
0:46:32	12月のこの7月19日の提出スケジュールっていうのは、
0:46:35	何ていうか、そうそこまで精緻なものではなかったというのが多分正直なところなのかなと。
0:46:42	いうふうに今感じました。少なくとも、普通の照準頭に前半に
0:46:50	Q値の測定が終わるにもかかわらず、今、12ページで示されているのは、9月の
0:46:57	前半、
0:46:58	初頭なんていうんすかね。
0:47:00	照準とかにも資料提出予定となっているので、ちょっとそこは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:05	どうだったのかなってというのが正直ある。
0:47:08	いうのと、あと、
0:47:09	これは我々からの要望というかですね今後の進め方全体についてなんですけど、以前ちょっとですね
0:47:20	地震本部、
0:47:21	地震調査委員会の
0:47:24	長期評価ですね活断層、これについての
0:47:28	以前面談だったんだな、ヒアリングか面談でお話聞かしていただいたと思うんですけど、
0:47:34	あれをですね、ちょっと早急に取りまとめていただいて、できれば、その進捗状況と一緒に、10月同じぐらいのタイミングで、
0:47:44	一緒に支援者会合ができればなと思ってますので、その辺
0:47:49	準備ですね、お願いしたいっていうことも実際に準備されてるのかもしれないので、ちょっとその状況について今どんな感じかだけ教えてもらえますでしょうか。
0:48:00	はい。九州電力の本村でございます。先ほどありました地震本部の資料作成状況につきましては、
0:48:07	大分ですね、資料整ってきてますので、先ほどの10月上旬とか、そういうスケジュール介護と合わせてというお話がありますけども、それと間に合うような形になるかとは思います。
0:48:21	そういう状況でございます。
0:48:23	規制庁窓口です状況わかりましたのでよろしく願いいたします私から以上です。
0:48:34	はい。九州電力の方から特に、
0:48:37	ありませんかなければ面談、これで終了したいと思い
0:48:42	はい。それでは面談の方を終了します。どうもありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。